

平成25年度における 健康づくりの推進に資する広報活動

平成26年1月22日
第2回健康づくり推進本部

平成25年度における健康づくりの推進に資する広報活動

普及・啓発イベント

- 健康増進普及月間、食生活改善普及運動（9月）
- がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間（10月）
- 第9回健康づくり佐久市民のつどい（9月）
 - 自治体主催の健康イベントを厚生労働省との共催で実施
 - 元スピードスケート五輪代表の勅使河原郁恵さんによる講演・ウォーキング指導を実施
- がん検診50%推進全国大会（10月）
 - がん克服者である女優の宮崎ますみさんを招いたトークショーなどを実施

『いきいき健康大使』のご活躍

- ☆三浦雄一郎氏（プロスキーヤー、冒険家）
 - 「月刊厚生労働」巻頭インタビュー
 - 自治体における健康づくりの講演（調整中）
- ☆有森裕子氏（女子マラソン五輪メダリスト）
 - 健康産業専門展「スポルテック2013」健康づくりの講演
 - 「女性の健康週間イベント」女性の健康づくりの講演（調整中）
- ☆平原綾香氏（シンガーソングライター）
 - 「第2回健康寿命をのぼそう！アワード」出席
 - 「徳光&木佐の知りたいニッポン！」インタビュー

第2回健康寿命をのぼそう！アワード

- 優れた取組を実施する企業や団体、自治体に対し、厚生労働大臣賞及び健康局長賞を授与
 - 最優秀賞は「(株)タニタ」が受賞（別紙1）
 - 本年秋に実施する第3回から分野の拡充を予定（別紙2）

政府広報などメディアの活用

- 月刊厚生労働（12月1日発行）
 - 徳光&木佐の知りたいニッポン！（12月19日～）
 - Yahoo!JAPANテキスト広告（12月16日～22日）
 - なるほど！ニッポン情報局（2月8、9日予定）
- ※月刊厚生労働は厚生労働省による独自の広報誌

第2回 健康寿命をのぼそう！アワード

厚生労働大臣最優秀賞 「株式会社タニタ」

<取組概要> 集団健康づくりパッケージ 『タニタの健康プログラム』の展開

- 社員の健康が企業の成長に寄与する「健康経営」の考えでスタート
- 「からだの見える化」で、健康的な生活習慣への行動変容を促進
 - ・社員に通信機能を備えた歩数計と体組成計を貸与
 - ・計測したデータをインターネットを介して自動転送、専用サーバに蓄積
 - ・パソコンやスマートフォンを使って本人が確認
 - ・データを基に専門家がアドバイスを実施
 - ・モチベーション継続のため歩数を競うイベントや、
週1回の体組成計測の義務化などを実施
 - ・PDCA（計測・実行・検証・改善）体制を構築
- メタボ社員の減少と約9%の医療費削減を実現
 - ・導入から半年間で社員全体の
平均体重：3.6kg減、平均体脂肪率：1.7%減
 - ・導入前の2008年度と導入後の2010年度比で
約9%の削減（所属健保組相比で18%削減）

施設や地域を対象とした集団向け健康づくりパッケージ
タニタの健康プログラム導入のご提案

「Smart Life Project」は、厚生労働省が推進する国民の健康寿命をのぼすための生活習慣改善プロジェクトです。「健康寿命をのぼしましょう。」をスローガンに、【運動・食生活・禁煙】の3分野について具体的なアクションの呼びかけを行う国民運動です。

厚生労働大臣 最優秀賞受賞
健康寿命をのぼそう！
Smart Life Project

▶ タニタ健康プログラムの狙い

タニタがこれまで様々な健康事業に携わってきたノウハウを活用し、集団向け健康づくりのシステムとしてパッケージ化に成功したものです。本プログラムを施設や地域に健康づくりの仕組として整備する事で、医療費の適正化や職員・住民の健康寿命の延伸を狙いとしています。

▶ 本プログラムの効果

本プログラムは2008年度より阪タニタに導入し、顕著な成果が出ています。

（1人当たり医療費の比較）

	単位(円)		削減率
	2008	2010	
計画健保全体	127,604	138,721	108.2%
タニタ	116,996	106,180	90.8%

※この削減効果はメタボ解消促進事業（職場版）として平成24年度厚生労働省に報告されました。

▶ 本プログラムの概要

タニタでは生活の中に「はかる・わかる・きづく・かわる」という健康サイクルを定着していく事が健康への最良の方法と考え、「はかる」を中心とした行動変容プログラムを提供しています。

はかる ▶ わかる ▶ きづく ▶ かわる

歩数計を身につけて歩く
時系列データで確認
原因の特定
目標を立てる・行動する

第2回 健康寿命をのばそう！アワード（平成25年11月実施）

厚生労働大臣賞

表彰名	事業者・団体名	応募対象名
最優秀賞	株式会社タニタ	「集団健康づくりパッケージ 『タニタの健康プログラム』の展開」
企業部門 優秀賞	株式会社 大和証券グループ本社	「人事部・健保組合・産業保健スタッフ が一体となった健康増進の取り組みに ついて」
団体部門 優秀賞	東京都職員共済組合	「大規模保険者『東京都職員共済組合』 の生活習慣病予防への挑戦
自治体部門 優秀賞	呉市（広島県）	「呉市糖尿病性腎症等重症化予防事業 /はじめよう！減塩生活」

厚生労働省健康局長賞

表彰名	事業者・団体名	応募対象名
企業部門 優良賞	エームサービス株式会社	『メタボリCare』(低エネルギー・低コレステロール・高食物繊維を基本としたバランスの良いセットメニュー)の推進」
	株式会社グローバルダイニング	「お客様と従業員に健康と喜びを」
	株式会社フジクラ/フジクラ健康保険組合	「『社員が生き生きと働いている会社』を目指して」
	第一生命保険株式会社	「第一生命の健康経営 ～DSR経営と安心の絆～」
	ローソン健康保険組合	「健康診断結果に基づく、事業所と連携した健康増進施策」
団体部門 優良賞	企業組合 であい村 蔵ら	「『企業組合 であい村 蔵ら』が夢の華咲かせます！ ～人も町も元気もりもりプロジェクト～」
	くまもと禁煙推進フォーラム	「キツエンからキンエンに。ー熊本県における禁煙推進活動ー」
	公益財団法人 愛知県健康づくり振興事業団	「愛知県内の小中学校への学校教育支援事業 ～こころとからだの健康教育～」
	公益財団法人 日本対がん協会	「らくらく禁煙コンテスト」
	JA山梨厚生連健康管理センター	「延ばそう！健康寿命『つなげる、やさしさ。』プロジェクト」
自治体部門 優良賞	大府市(愛知県)	「大府健康長寿サポート事業 ー運動等を通して、認知症(介護)を予防できるまちを目指してー」
	坂戸市(埼玉県)	「地域資源と連携した市民との協働による健康づくり運動」
	小豆島町(香川県)	「オリーブを用いた健康長寿の島づくり活動」
	妙高市(新潟県)	「『総合健康都市 妙高』の実現に向けた市民主体の健康づくり」
	和光市(埼玉県)	「高齢者が住み慣れた地域・住まいで生活できる仕組みづくり 及び介護予防 要介護者減少のための包括的な取組み」

○ 「持続可能な社会保障制度の確立を図るための改革の推進に関する法律」第4条及び第5条における、健康管理や疾病予防、介護予防等の自助努力が喚起される仕組みの検討の趣旨を踏まえ、来年度より、「健康寿命をのばそう！アワード」を拡充・発展させ実施する。

【目的】

企業、団体、自治体等において、生活習慣病予防及び介護予防・高齢者生活支援への貢献に資する優れた自助努力活動等の奨励・普及を図る。

【応募対象】

生活習慣病予防及び介護予防・高齢者生活支援への貢献に資する優れた自助努力活動等を行っている企業・団体・自治体（保険者を含む）

